

令和7年度 学校評価報告書

1 教育目標

独創進取の精神をもって人生を積極的に切り開く力を育てることにより、平和で民主的な社会や持続可能な社会の担い手となる人間の育成をめざす。また、社会に開かれた学校として家庭や地域との交流を深め、ともに教育活動を進めることを旨とする。

2 本年度の努力点

- 1 生徒一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じた学びや協働を提供することで、主体的・対話的で深い学びの実現と、多様な人とのかかわりの中で社会に求められる資質・能力の育成を目指す。
- 2 変化する社会情勢に対応しつつ、自他の命を大切に、自他の存在を尊重しながら社会の一員として自分らしく、たくましく生きることができるキャリア教育の充実を目指す。

3 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	学習意欲の向上と基礎学力の定着	1年生では、基礎学力の定着と学習習慣を身につけさせるとともに、知識修得の達成感によって学習意欲の向上をめざす。	1学期から夏季休業にかけての学力指導に特に注力した。基礎的な算数・数学の能力に問題のある生徒が多い傾向が続いていることから、次年度に向けて、基礎学力指導における指導体制の見直しを行った。これにより、個々の生徒の実態により即した指導となることが期待される。
		コース及び選択科目について進路を見据えた選択ができるように指導するとともに、学習意欲の向上をめざす。	新2年生の指導期間を長く確保する日程が定着し、しっかりとした指導につなげることができた。新3年生では、コースの希望者数の調整に長時間を要した学科があった。個々の生徒の興味・関心や進路を踏まえた指導の結果ではあるが、事務的な手続きに支障をきたした面もあるため、再発防止策を講じる必要がある。
	E S Dの推進	S D G sの観点に立ち、特に環境、防災、人権を重点課題としてE S Dを推進する。	環境技術科を擁する工業高校として、各教科・科目の授業や学校行事等においてE S Dの推進を図ることができた。工業各科や地歴・公民科、家庭科などにおいては、校外学習や外部講師の招聘なども積極的にを行い、生徒からも好評であった。現状、各教科・学科や個々の授業担当者の取り組みに依拠する部分が大きいため、学校全体としての取り組みにつながっていない点が課題である。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	授業に臨む姿勢に対する指導や、成績不振者に対する個別指導・サポート体制の充実を図る。	学校全体としては比較的落ち着いて授業を受ける態勢がつけられてきたが、引き続き、根気強く指導を繰り返しているところである。また、成績不振者に対する個別指導などは、学習のサポート体制を充実させることができた。
	生徒指導の共通認識	基本的な生活習慣の向上に努め、学校全体で情報を共有し、組織として対応する。	名市工ガイドブックに則った共通認識をもって生徒指導を行うことができた。また、学校全体での情報共有を図ることができた。遅刻が増えてきた生徒への指導や支援で、昨年度より遅刻回数を減らすことができたが、多様化している生徒の状況に併せ、今後も生徒に寄り添った指導方法を模索し、実践していく必要がある。中川警察署や名古屋法務局等と連携し、高校生に関する現代社会の諸問題の予防教育や人権教育等を行うことで、生徒の意識向上に努めることができた。
	交通安全指導	交通安全を徹底するよう指導に努める。	通用門や交通事故発生重点箇所にて立ち番を行い、生徒への声掛けを実践した。次年度から自転車乗車に関する道路交通法が改正されることもあり、生徒に対して自転車乗車時におけるヘルメットの着用をはじめとした交通安全を自発的に意識できる指導方法を模索・実践していくことで、生徒自らの着用を促したい。
進路指導	生徒の希望進路の実現	進路相談を重視し、マッチングを高めるような進路指導を行う。	進路相談で生徒の希望進路について細やかに聞き、生徒が希望する進路実現ができた。卒業後もやりがいを持って働くことができるような就職斡旋を引き続き指導していく。
	キャリアガイダンスの充実	進路講話や座談会を企画し、キャリアガイダンスを充実させる。	各学年の進路集会や外部講師による進路講話、3年生や卒業生との座談会を開催することで、充実したキャリアガイダンスを実施できた。進路の行事に積極的に参加する生徒が増えるように魅力的な内容を考えていきたい。

4 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

アンケート	実施状況	結果公表	公表方法
アンケート	6・11月 学校生活アンケート	結果公表	4月 P T A役員会・委員会
	5～3月（8月を除く） いじめ調査アンケート		4～3月（8月を除く） 人権・いじめ対策委員会 職員会議にて結果報告
	2月 卒業生満足度調査		1月 なごやコミュニティ・スクール会議 1～2月 校務分掌総括、自己評価まとめ